

文化政策から、地域の未来をつくる

-mana viva-

2016/11/9 Wed 18:30 - 20:30 いわき芸術文化交流館アリオス カンティーン

トーク「文化の対象はどこまで広がっているのか？」

ゲスト 大澤寅雄氏 (文化生態観察/ニッセイ基礎研究所)

2016/11/30 Wed 18:30 - 20:30 いわき芸術文化交流館アリオス カンティーン

ディスカッション「地域の多様性を大切にするためには？」

ゲスト 長嶋由紀子氏 (文化政策研究者) × 鈴木一郎太氏 (株)大と小とレフ取締役)



「マナビバ。」は、震災がもたらした地域の課題について、その解決策を、文化・芸術・アートの視点から可能性を探り、これからの福島について、考え・学び・話し合う場です。

文化政策から、地域の未来をつくる

地域の実情を調査するとともに、震災復興における文化政策の意義や役割を考えるためのセミナーシリーズを開催します。いわき市が目指す「文化のまちづくり」とはどうあるべきか、そのために必要なことは何か。さまざまなゲストのお話を伺いながら、参加者のみなさんと共に考えます。この機会に多くの方々のご参加をお待ちしております。

定員30名・参加無料

※事前受付優先  
※当日受付有り

次回予告

12/18 Sun 13:00 - 15:30 いわき産業創造館 企画展示ホール / 定員70名 / 参加無料  
フォーラム 「なぜ、文化に政策が必要なのか？」 ※詳細は近日中にウェブサイトに掲載します。

11/9 Wed 18:30 - 20:30 いわき芸術文化交流館アリオス カンティーン  
トーク「文化の対象はどこまで広がっているのか？」

GUEST 大澤寅雄氏 (文化生態観察/ニッセイ基礎研究所)

近年、文化政策の対象は芸術や文化の振興だけでなく、まちづくりや福祉など多様な分野へと広がってきています。最近の動向を学び、文化政策の分野を「横断する力」を活かすために、どのような役割が必要なのかを考えます。



大澤寅雄 [文化生態観察/ニッセイ基礎研究所]

1970年生まれ。(株)ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室准主任研究員、九州大学ソーシャルアートラボ・アドバイザー、NPO法人 STスポット横浜監事。慶應義塾大学卒業後、劇場コンサルタントとして公共ホール・劇場の管理運営計画や開館準備業務に携わる。2003年文化庁新進芸術家海外留学制度により、アメリカ・シアトル近郊で劇場運営の研修を行う。帰国後、NPO法人 STスポット横浜の理事および事務局長、東京大学文化資源学公開講座「市民社会再生」運営委員を経て現職。共著=「これからのアートマネジメント」『ソーシャル・シェア』への道』『文化からの復興 市民と震災といわきアリオスと』。

11/30 Wed 18:30 - 20:30 いわき芸術文化交流館アリオス カンティーン

ディスカッション「地域の多様性を大切にするためには？」

GUEST 長嶋由紀子氏 (文化政策研究者) × 鈴木一郎太氏 (株)大と小とレフ取締役

ひとつの地域には、さまざまな文化的背景をもった人々が共に住んでいます。その多様な「違い」を包み込むような文化政策は、どうすれば実現できるのでしょうか。国内外の理念や事例を学ぶことから、これからのいわき市に必要な文化政策のありようを議論します。



長嶋 由紀子 [文化政策研究者]

お茶の水女子大学文教育学部卒業後、在日フランス大使館勤務を経て、東京大学大学院人文社会系研究科修士課程修了、同博士課程単位取得退学。博士(文学)。専門は文化資源学、文化政策研究。共立女子大学、昭和女子大学、および早稲田大学非常勤講師。日本の自治体の文化政策形成過程にも多く関わっている。「フランス第一次地方分権改革における文化政策の制度設計—ナント都市圏の事例分析から—」(『文化政策研究』第7号2014年)『行政改革と文化創造のイニシアティブ 新しい共創の模索』(共著、美学出版、2013年)、『CLAIR REPORT No.360 フランスの文化政策』(執筆分担、自治体国際化協会、2011年)など。



鈴木一郎太 [(株)大と小とレフ取締役]

浜松市生まれ。イギリスでのアーティスト活動後、NPO法人クリエイティブサポートレッツにて、深澤孝史と起草した「たけし文化センター」事業の様々な分野と連携した企画を主に担当。2013年、ハードからソフトまで分け隔てなく扱う会社を、建築家の大東賢とともに設立。建築設計、企画とともに、様々な特殊案件を扱う。主な仕事に、『セミナールーム黒板とキッチン』運営(2014~現在)、『花博2014花みどりアート回廊』アートディレクション(静岡県/2014)、演劇作品『例えば朝9時には誰がルーム51の角を曲がってくるかを知っていたとする』西尾佳織と共同で作演出(SPAC/2015)、『ゲストハウスとカフェと庭コロシアム』設計(コロシアム/2016)、ゲストハウス付民間文化施設『扉の角』設計、コンセプトデザイン、事業計画補助(シアター&アーツうえだ/2016)など。現在、2020年オリンピック・パラリンピック文化プログラム静岡県推進委員会プログラム・コーディネーターも務めている。

※内容は変更になる場合があります。

お問合せ・お申込み先

いわき市 文化スポーツ室 文化振興課  
〒970-8686 いわき市平字梅本 21  
TEL : 0246-22-7544 FAX : 0246-22-7552  
E-mail: bunkashinko@city.iwaki.fukushima.jp

福島藝術計画 × Art Support Tohoku-Tokyo  
事務局 (担当: 会田)  
E-mail : tas.fukushima@gmail.com  
WEB : http://f-geijyutsukeikaku.info

氏名	TEL	
	FAX	
住所	E-Mail	
NO.	概要	参加希望に○
1	文化の対象は、どこまで広がっているのか?	
2	地域の多様性を大切にするためには?	

※お預かりした個人情報は、本事業のみ使用致します。